


研究者総覧：朴 善 嫻 (PARK, Sunjoo)

氏名	朴 善 嫻 (PARK, Sunjoo)	
職名	助教	
所属講座	日本語文化専攻	
学位（専攻分野）	博士（学術）・名古屋大学	
メールアドレス	park@lang.nagoya-u.co.jp	
研究分野	日韓対照言語学 第二言語における語彙学習 コーパス言語学	
所属学会	朝鮮語教育研究会 日本語学会	
主要論文	「韓国語の 2 字漢字語の語彙性アスペクトによる動詞化および形容詞化の予測」、朴善嫻・玉岡賀津雄・李在鎬、『Studies in Language Sciences』Vol.12;136-152, 2013, 開拓社, (2013.11) 「日本語と韓国語の同形二字漢字語の形態統語的類似性と相違性に関するコーパス研究」、朴善嫻、『ことばの科学』第 26 号、名古屋大学言語文化研究会、pp. 39-58, (2013.12) 「同形二字漢字語の品詞性に関する日韓中データベースの概要」、朴善嫻・玉岡賀津雄・熊可欣、『ことばの科学』第 27 号(特集号)、名古屋大学言語文化研究会、pp. 3-23, (2014.10)	
自己紹介	博士前期課程では、日本語教育を専門とし、韓国人日本語学習者にとって語彙学習や語彙習得はどのような過程で行っているのかに焦点を当て、研究を行ってきた。特に、語彙の中でも主に漢字語に焦点を当て、日韓対照研究を行った。それを出発点として、日韓漢字語のデータベースを作成した。日本語および韓国語内には、両方とも漢字語が 7 割を含んでいる。これは学習者にとって有利な部分もあれば干渉が起こる部分も少なくない。そこで、漢字語は、どのような文法項目と繋がりを持ち、統語的な要素に影響を持っているのかを研究している。特に、漢字語のデータベースを基に、漢字語が表す動作性または状態性による品詞性および語彙性特徴などの把握ができるようにし、データベースを利用して、統語的な性質を明らかにする研究を行っている。	

受験生へのメッセージ	外国語を勉強することで自分の母語について思考がより深くなり、他言語の原理について考えるようになるのは、だれもが経験していることだと思います。その経験を生かして、みなさん各自が求めることを探し、研ぎ、究めることが研究や探求だと思います。とはいえ、難しく考えず身近なところから始めてみてはいかがでしょうか。大学院に入ってたくさん学ぶうちに素晴らしい発想が浮かび上がるかもしれません。
------------	---